

尚武

- 1 会長挨拶
- 2 新幹部紹介、新主将挨拶
- 3 4年生進路状況
- 4 試合結果、近況
- 5 令和4年春季合宿
- 6 支部会の開催中止について
- 7 昇段情報
- 8 お知らせ

1 会長挨拶

名城大学剣道部後援会会長 高石 和人 (18代)



皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年も新型コロナウイルスに明け暮れる1年でした。年末にかけて感染者は減少安定の傾向で推移していますが、一方で変異を繰り返す強敵への水際対策や第6波の警戒感もあり、依然予断は許されない状況が続いております。

今年こそは本会会員の皆様、剣道部員諸君、ご父兄の皆様、また大学関係者の皆様にとりまして不安や不自由、制約から解放されて豊かな日常に戻れますことを心から念ずる次第でございます。

思えば昨年度卒業しました62代幹部は誠に不幸な巡り合わせで悔しい1年を過ごしました。一転、今年度の

学生剣道界におきましては無観客等一定の制限の中で各種大会は開催され、先輩達が成し遂げられなかった悔しい思いを払拭する機会に恵まれました。そして、その思いは9月に開催されました東海学生剣道優勝大会(男子)の上位7校に与えられる全国大会出場の切符を手にするという何と17年ぶりの朗報を聞くに至りました。

近時の剣道部活躍の背景には大学側の理解と支援、同時に指導体制や後援会の新しい体制と支援への取組みも大きく弾みをつけたものと自画自賛する次第です。この潮目の変化や流れ、或いはチャンスをしっかりと維持、継続しつつ、引き続き支援の手を弛めることなく活動を進めて参りたいと考えております。今後とも会員各位、関係者の皆様の絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

2 新幹部紹介、新主将挨拶

◆第64代新幹部

主将	芝 拓海 (3年、経済)	会計	加藤 尚也 (2年、理工)
副主将	藤井 達生 (3年、経営)	女子主将	鈴木 菜月 (2年、理工)
主務	鬼頭 拓也 (3年、法)	女子副主将	松野 里菜 (2年、法)
副務	加藤 圭悟 (2年、法)	Web 責任者	森 健斗 (2年、理工)

◆新主将挨拶

第64代主将 芝 拓海



日頃は私たち現役のために物心両面のご支援を賜り、誠にありがとうございます。第64代主将を務めます芝拓海と申します。

現在の名城大学剣道部は男子・女子共に部員数こそ少ないですが、部員一人一人が目標を持ち稽古に励んでおり、全国大会出場を1年で途

切れさすことのないよう、チーム一丸となって精進しています。また、名城大学剣道部として恥じぬ学生になる

ために剣道の技術だけを磨くのではなく、挨拶や礼儀は当然のこと人としての考え方や取組かたをしっかりと考え人間的にも成長するよう努力していこうと思っています。名城大学剣道部は、先輩方の多大なるお力添え下に成り立っています。新型コロナウイルスによって、このような社会情勢ではありますが、多くの先輩方から応援のお声をいただき、恵まれた環境の中で稽古ができていくことを実感し感謝しています。この気持ちを忘れることなく、剣道部一丸となって邁進して参りますので今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

第 65 代女子主将 鈴木 菜月



第 65 代女子主将を務めさせていただきます鈴木菜月と申します。現在 2 年生で 1 年早い主将ですが、しっかりチームを引っ張っていけるよう努めていきます。

今期の女子部員は 5 人という少ない人数ではありますが、それぞれ六郷監督のもと厳しい稽古の中でも自分自身に妥協することなく全力で取り組み、試合で 1 本取る力と精神面を鍛えて、全国でも戦えるチームになるよう努力しています。また剣道の技術面だけでなく、

仲間とコミュニケーションを図る事で団結力も深めていく事や、支えてくれている人への礼節や感謝の気持ちを忘れず人間性も成長できるよう頑張っていきます。

今年は全国大会に出場を逃した先輩方の悔しさを背負いながら、リベンジを果たすべく、まずは予選を突破し、男女共に全国の舞台に立てるよう、常に挑戦者の気持ちを忘れず、チーム一丸となって精進して参ります。

このご時世で稽古できることに感謝しながら稽古に励んでまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

3 4 年生 (63 代) 進路状況

主将	大橋 直弥	大垣消防組合
副主将	稲垣 勝紀	公務員志望
主務	安西 倫也	静岡県警察
会計	小瀬木 稜	学校法人尾張学園
	宮野 航	名城大学大学院理工学研究科
	河田 一将	名城大学大学院理工学研究科
	森田 賢五	株式会社フォーナインズ
	原田 輝多	愛知県警察
	神田 寛基	マックスバリュ東海株式会社
	森田 雄飛	愛知県警察
	井土 拓海	就職活動中

女子主将	石田 百花	ネットフォース株式会社
女子副主将	川路 里音	徳倉建設株式会社



4 試合結果、近況

◆東海女子学生剣道選手権大会

9 月 12 日 (木) 於 豊田市武道館

◆東海学生剣道優勝大会

9 月 23 日 (日) 於 スカイホール豊田

男子：決勝トーナメント進出後、敗者復活戦にて中部学院大学に勝利し全国大会出場権獲得

◆東海女子学生剣道優勝大会

9 月 25 日 (土) 於 枇杷島スポーツセンター

女子：決勝トーナメント 1 回戦で愛知大学に敗退

◆東海学生剣道選手権大会

10 月 2 日 (土) 於 中村スポーツセンター

男子：(3 回戦進出) 芝拓海・安西倫也・宮野航



◆全日本学生剣道優勝大会

10月24日(日) 於 大阪府立体育館

男子：1回戦で広島大学に敗退

◆東海学生剣道新人選手権大会

11月23日(火) 於 OKB ぎふ清流アリーナ

男子：(3回戦進出) 田中球真

女子：(3回戦進出) 鈴木菜月

◆東海私立大学剣道選手権大会(予定)

3月5日(土) 於 露橋スポーツセンター



◆「後輩へのエール」大橋 直弥(63代主将)

名城大学剣道部が男子団体で17年ぶりに全国大会に出場することが決まったときはとても嬉しかったです。それからの稽古は更に気合が入り良い状態で大会に臨むことが出来ました。大会では、大将として最後一本取れず一回戦敗退したことは悔しかったです。大会に出場出来たことはいい経験になったと思います。そして、主将として大切にしてきたことはやりきれたと思います。私が主将として大切にしてきた事は人間関係でした。普段から横の繋がりだけでなく学年問わず仲良くものを言い合える関係があったことによって、不満を溜めることなくチームワークは向上し技術や精神の向上にも繋がったと思います。

今後の成長が楽しみな後輩多いので、目標達成するために自分達で大切にすることを決め頑張りたいと思います。

団体だけでなく個人でも全国大会という素晴らしい舞台に立ち、活躍することを期待しています。



5 令和4年春季合宿

春季合宿の日程、及び会場等が決定しておりません。

決定後の詳細につきましては、主務より名城大学剣道部公式HPに掲載いたしますのでご確認ください。

6 支部会の開催中止について

例年11月から翌年2月にかけて忘年会や新年会を兼ねて全国で支部会を開催していましたが、新型コロナウイルス感染の影響を受け、大勢が寄り集まって協議や飲食することは万が一の感染につながる危険性を排除できないものとして役員会(メール・電話等)にて本年度も中止とする決定を致しました。

毎回楽しみにされていた会員の皆様、次年度は何の不安もなく開催できる環境が整うことを期待しつつ、お会いできることを待ち望んでおります。



7 昇段情報

- 剣道 7 段 木村健一先輩 (12 代、三重支部)
鈴木貴章先輩 (46 代、三河支部副支部長)
名古屋審査会 令和 3 年 11 月 13 日 (土) 名古屋市枇杷島スポーツセンター
- 剣道 6 段 宮田幸久先輩 (10 代、顧問、三河支部)
岡田祐介先輩 (48 代、名古屋支部)
名古屋審査会 令和 3 年 11 月 14 日 (日) 名古屋市枇杷島スポーツセンター
- *この結果、事務局集計による高段者は、8 段 2 名、7 段 43 名、6 段 16 名になります。

◆『剣道7段昇段』鈴木 貴章(46代)



令和 3 年 11 月 13 日、枇杷島スポーツセンターにて、剣道七段審査に合格することができました。振り返ってみると、社会人となっても剣道を続け、今回の審査に合格できたのも、大学時代が全てだったと確信しています。私は就職に困らないという理由だけで名城大学理工学部へ進学しました。大学までの道のり遠く、興味のわからない講義に嫌悪感を抱き、いつの間にか大学へ行くことが減っていききました。地元でのアルバイト、大学へ行っているのかいないのか。何もかもが中途半端でした。そんな自分が嫌でした。このままでいいのか、やりたいことは何なのか。真剣に悩みました。自分は何がしたいのか…。

私は…剣道がやりたい。中学の部活動で剣道というものに出会い、部活動の価値を知り、剣道の魅力に惹かれた。私は中学校教師になって、部活動のよさを一人でも多くの人に伝えていきたい。大学でも剣道部へ入りたい。こうして同学年に遅れる形で名城大学剣道部へ入部しました。上下関係のない公立高校剣道部出身の私は、大学の体育会剣道部という環境に叱られることも多くありました。部内では実力もない、仕事もできない人間でした。ただ、名城大学剣道部は、私のやる気を受け入れてくれました。先生や先輩方に認めていただき、大学で剣道を全うすることができました。現在、私は岡崎市立六ツ美北中学校で剣道部顧問をもたせてもらっています。あのときの思い変わらずに、目の前の生徒に向き合っています。

8 お知らせ

◆後援会費納付のお願い

令和 3 年度後援会費の納付状況は 12 月末現在、会員・賛助会員 124 名の皆様から 187 口 935,000 円の納付を頂きました。特に今年度は複数口の高額納付を多くの会員の皆様から頂くなど、何かとご不便の多い中ご協力誠に有難うございました。

今年度の実績は平成 28 年度の制度変更以降では平成 29 年度に 134 名、187 口、935,000 円に並ぶ高額となっておりますが、会員数は僅かに増加しているにもかかわらず納付者の伸びは鈍化(下回り)の傾向で推移しています。事情ご賢察の上、納付の手続きがお済みでない会員の皆様、お手数ですが期限までにご手配頂きますようお願い致します。振込用紙がお手元がない場合、事務局にお問い合わせ下さい。宜しくお願い致します。(納付期限：令和 4 年 2 月末日)

名城大学剣道部後援会会報 (令和 4 年新年号)

発行日：令和 4 年 1 月 1 日

発行人：高石 和人 (会長、18 代)

編集人：上田 剛裕 (事務局長、31 代)、鬼頭 拓也 (主務、64 代)

発行所：名城大学剣道部後援会事務局

〒465-0028 名古屋市名東区猪高台 1-212 (201) TEL/FAX 052-778-4160 E-Mail takaishik910@yahoo.co.jp

